

4年生 研究授業

「説明のしかたについて考えよう／アップとルーズで伝える」
「写真と文章で説明しよう／『仕事リーフレット』を作ろう」(15時間)

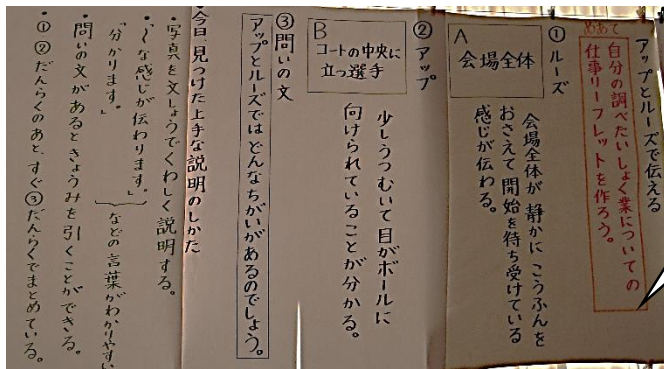
単元を貫く言語活動：「説明を工夫して、仕事リーフレットを作ろう」

単元の 目標	<p>◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているのかを考えながら読むことができる。</p> <p>◎写真と対応した部分に注目して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめることができる。</p> <p>◎関心があることから書くことを決め、必要な事柄を調べることができる。</p> <p>◎写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して書くことができる。</p>
-----------	--

◆本時の流れ◆ (4/15時間)

【本時の目標】 写真と文章の対応関係を読み取り、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所、段落相互の関係を
つかむことができる。

導入 1. 前時の学習内容の振り返り



単元のゴール「自分の調べたい職業についての仕事リーフレットを作ろう」を提示したり、掲示物を使って「前時の学習内容」を確認したりできるように工夫していました。

2. 学習課題の確認

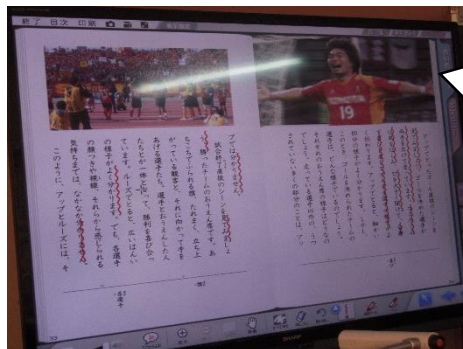
写真と文章を使った伝え方の工夫を読み取ろう。

展開 3. 本時の場面を音読



第4段落から第6段落まで自分のスピードで音読していました。

4. 第4段落と第5段落の文章を比べ、同じような表現の部分を確認



文末表現に着目して、同じような表現を子どもたちが見つけます。それをデジタル教科書を活用して、確認していました。

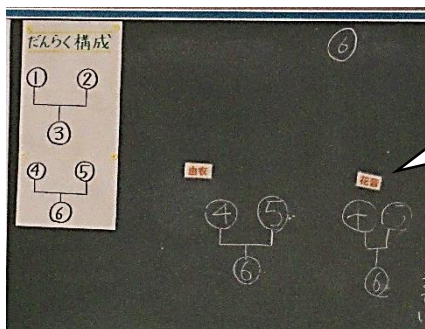
5. 「アップ」と「ルーズ」の分かること、分からないことを少人数で交流
⇒ノートに記入後、伝え方の工夫をまとめる



まとめ 6. 本時のまとめ

二つのことを対比させると、それぞれのとくちょうが分かりやすい。

7. 段落の関係について考える



前時で学習した第1段落から第3段落までの段落の関係を想起し、本時で学習した第4段落から第6段落までの関係について考え、整理しました。

◆成果と課題◆

- 第4段落と第5段落の文章を比べるときに、デジタル教科書を活用したが、文章のどの部分を比較するとよいのかが一目で分かり、効果的だった。
- 子どもたちは、よく考え、ノートに考えを書いていた。また、単元の学習計画や前時までの学習が振り返られるような掲示物があり、子どもたちは見通しをもって学習に取り組むことができていた。
- 「単元を貫く言語活動」を位置付けた指導計画を作成するのが難しかった。(今回は、次の「書くこと」領域と複合単元的に考えて学習計画を作成したが、それでよいのかよく分からなかった。)